

会議名	令和3年度第3回青少年問題協議会専門委員会		
事務局 (担当課)	児童青少年課		
開催日時	令和4年2月4日(金)午前10時00分～午前11時34分		
開催場所	市役所本庁舎 第一会議室		
出席者	委員	黒須委員、浅野委員、金井委員、八木委員、鈴木委員	
	その他	欠席：佐藤委員、後藤委員、小山委員、倉持委員、大貫委員、大内委員	
	事務局	鈴木児童青少年課長、前田児童青少年係長	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1人
会議次第	1 開 会 2 議 題 (1) 専門委員会による調査、協議のテーマについて 3 閉 会		
提出資料	○ 令和3年度第3回小金井市青少年問題協議会専門委員会 次第資料4 アンケート項目(案) 参考資料 ・事前照会に対する委員意見		
会議結果	・アンケートの設問等について、委員長及び副委員長と調整の上、修正案を作成し、改めて書面で確認いただく。 ・いただいた意見をもとに必要な修正を加え、本体会議に報告する。 ・アンケートの対象については、小学校6年生と中学校3年生を対象とする。 ・本体会議での議論を踏まえて次回の専門委員会でアンケートの内容を確定する。		

浅野委員長	<p>それでは、皆様、おはようございます。委員長を務めます浅野です。本日はこういう形態での会議でありますけれども、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これより青少年問題協議会第3回専門委員会を始めます。次第の議題、本日は前回の続き、調査、協議のテーマについて、皆さんと協議を進めてまいります。</p> <p>前回の会議内容では、テーマとしてはコロナ禍とICT化ということで、アンケート項目を検討していくことといたしました。本日の会議前に、事務局にたたき台を作ってください、それを事前に確認したいということで、皆様には一度たたき台を御確認いただいて、その意見も反映させたものが本日配付の資料になっているという認識であります。</p> <p>予定としましては、今日、ある程度アンケート項目を専門委員会でまとめ、それを本体会議に諮っていくということになっていたと考えます。</p> <p>まずは、配付資料について、事務局から説明をいただいた後、具体的に議論を進めてまいります。</p> <p>それでは、事務局からの説明をお願いいたします。</p>
前田児童青少年係長	<p>事務局の前田です。皆さん、声は聞こえていますね。大丈夫ですね。ありがとうございます。</p> <p>まず、参考資料のほうと資料4を並べてお持ちいただければと思います。</p> <p>最初に事前に照会したときには33問ぐらいあったのですがけれども、皆さんに事前に御意見をいただきまして、調査数最大の25問に修正させていただいたのが資料4という形になります。事前にお配りした番号と今回お配りしている25までの数字がちょっとずれていくので、一番最初の説明は、事前に送った第何問ということで御説明をさせていただきたいと思います。本格的な議論に入る場合には、今日お示しした1から25の番号のほうで御意見をいただければなと思っておりますので、御協力をお願いいたします。</p> <p>まず、事前に照会させていただいた意見の中で、事前番号1番については、金井委員から御意見をいただきまして、1番にあった「制限」というのをなくさせていただいて、4番に「その他・特にない」という項目、1番は「感染すること」というところだったんですけれども、</p>

それを修正させていただいて、資料4のとおりに修正が入っております。

設問2についても御意見をいただいております。設問の回答の選択肢が、レベルが合っていないという御意見だったので、そこを合わせる形で修正をさせていただいております。

事前設問3について、「制限について、イヤなのは何ですか」は、全面的にちょっと書き方を修正させていただいて、対策の中でも基本的なマスクとか、そういうことなのか、学校生活での制限なのか、家庭生活での制限なのか、その他の場面での制限なのか、どの制限、対策を一番窮屈に感じているのかを確認する設問に修正させていただいております。

事前設問4、こちらは、学校、家族、地域の行事のほか、「その他の行事」という形で修正をさせていただいております。

5番については、設問自体を修正させていただきました。ちょっと分かりづらいということで御意見をいただきましたので、「コロナ前と比べ、変化を感じた人間関係」という形にして、先生などの家族以外の大人との関係なのか、友達との関係なのか、家族との関係なのか、もしくは「その他」の関係、「特にない」のかという設問にまとめてあります。

事前設問6、この辺りは事前の意見は特段いただいていたんですけれども、設問5の修正に伴いまして、それぞれの人間関係がどう変わったかという設問を削除して、その辺、設問5で、変化のあったものだけに特化した聞き方という形で、いい方向に変わったのか、悪い方向に変わったのか、それともコロナが理由ではない変化があったのかというような設問に修正をさせていただいております。

事前設問10については、八木委員の御意見で、「優しくなった」の対義語は「イライラ」ではないのではないかということだったので、「厳しくなった」と、4は「それ以外の変化」という形で修正させていただいております。

事前設問11については、修正しておりません。

12については、家の状況の中で変化があったら、その家の中の雰囲気はどうなりましたか。事前に送ったものではちょっと分かりづらいという御意見だったので、居心地がよくなったのか、悪くなったのか、変わらなかったのかという簡単な回答、設問に代えさせていただ

いております。

18から21については、大貫委員のほうから、「コロナによって」という言葉がどこと比べているのかが分かりづらいということだったので、残すようであれば、コロナが原因でなのか、コロナ前と比べてなのかというところ全てを統一していきたいなと思っておりますが、特段、今の時点では修正しておりません。ただ、この設問については、後でも説明するんですが、全て一回ゼロベースで考えていただいて、新しい設問を4個分入れる、その検討の一つにさせていただいてもいいのかなと考えております。

事前設問22、「コロナになって、よかったと思ったことはありますか」というところなんですが、ちょっとここは私の力では設問数が足りておりません。設問3問でいくのか、もう1問追加するのも含めて、ちょっと皆さんに御意見をいただきたいなと思っているんですけども、今までネガティブなことしか聞いていなかったもので、明るいことについても聞きたいなというところで、まだ残してある設問にはなります。ただ、楽しかったこととして子どもが感じるものが何なのかがちょっと思い浮かばなかったもので、皆さんのお力をいただければなと思っております。

事前設問23については、事前設問2とあまり変わらないというか、類似しているんですけども、4択で全て項目を出していたんですけども、「その他・特にない」という子どもも多いのではないかと思います。まして、「その他・特にない」を追記しています。

それと、事前設問24については、番号だけですね。25も番号だけですね。この辺り、御意見はいただいていると思います。重複しているものもあるので、どれを残してどれを削るか考えたらどうかということで、事前設問13にあったものを削除して、25のほうを残すという修正は行っております。

事前設問26番、「(変化があった人) どのくらい変わりましたか」もそのまま残しています。

27、28につきましては、保護者にこれを聞くのはどういう意図があるのかということだったので、ちょっと御説明させていただきたいと思うんですが、基本的には子どもと大人というか保護者は、同じ設問について主語を「あなたの子どもは〇〇と考えていますか」と、子どもに対しては「あなたは〇〇と考えていますか」というような聞

き方で、子ども自身が自分のことをどう思っているのかと、その子どもを俯瞰して見ている保護者は子どものことをどう理解しているのかというものの比較として検討を一応今設問のほうはしているんですけども、同じように、これは、保護者側を子どもはどう見ている、保護者自身はどう思っているのかというのが同じように聞けるかなと思いついて、そういう設問意図でございました。なので、25、26は、設問の客体になっているのが子ども、子どもに対して子ども自身はどう思っているのか、保護者から見たらどうなのか。27、28については、保護者が客体になっていて、保護者に対して子どもはどう見ているのかと、保護者自身はどう自分の行動を考えているのかという形の対比になっております。

事前設問29については、いただいた御意見のとおり修正はさせていただいているのですが、これに関連しまして新規設問の御意見を黒須委員からいただいております。「スマホやネットを使うことで体調の変化を感じますか」の次に「体調を改善しようと心がけていることはありますか」と入れたいということなのですが、ちょっと医療資格を持っている職員と委員がいない会議体になりますので、その行動がどれだけ体調改善に寄与するものなのかといったことの有効性が確認できない、あくまで民間療法とまではいかないんですけども、どれとどれを並べるのが正しいのかというのはちょっと判断が難しいなと考えております。この辺りは、どの設問をまた追加するのかという話合いが今日あるかと思っておりますので、その辺りの中で整理ができればなと思っております。

事前設問で31番にしていた部分です。「キーボードが使えますか」、こちらについても、「キーボード」だけに制限しないほうがいいのではないかという御意見もいただきました。ちょっと今日欠席の後藤委員のほうから、「タブレットに慣れ過ぎてキーボード利用ができない新入社員とか、そういうことが増えている」というような御発言があったため、現在は「キーボード」という形にさせていただいているのですが、「文字入力」として差し支えないという御意見が多ければ、金井委員の御意見が一番適した設問になってくるかなとは考えております。ここも御検討いただければと思っております。

「タブレットを使った授業を受けてどう思いますか」という32問目につきましては、すみません、私のほうで回答3、4に全く同じも

のが入っております、申し訳ありませんでした。黒須委員のほうから前回GIGAスクールに関連する発言を幾つかいただいていたかなと思ひまして、GIGAスクール自体はもうコロナがあってもなくても国は進めようとしていたところ、それが急速にコロナによって前倒しになって入ってきたというところでの戸惑いなのか、それにすぐに順応しているのか、そういったところをちょっと確認するのにどういう設問がいいのかが分からなかったんですが、身近なものとしては「タブレットを使った授業」がイメージしやすいかなと思ひまして、こういった設問にしてありました。ちょっとこちらは私のほうで勝手にその辺りがいいのではないかとということで設問を作ったんですが、ちょっと委員の皆さんの考えているのとは違う意図を持っていそうだなと思ひますので、削除するのも視野に入れながら再検討を、特に残すのであれば、設問自体から考えていただいたほうがいいかと思ひしております。

事前設問で最終問題33問。こちらは、休校になった場合に、自宅でのネット環境とか、そういったものについて心配だというお声がありましたので、入れさせていただいた問題であったのですが、金井委員のほうから御意見をいただきまして、ネット環境については、学校で持ち帰りをしている学校もあるという情報提供があったかと思うんですが、そういった際には、保護者にその環境があるのかどうか、事前にアンケートなりを取って慎重にやっていच्छるというところもありましたし、タブレットを持って帰っていない学校も様々あるというところで、この設問については、聞く学年もしくは小学校とかといった単位でかなり回答に差異が出てくるかなというところも感じておりました、持って帰っている子には聞きやすい、答えやすいのかもしれないですし、逆に小学校低学年とかだと、全然その辺が分かっていないとかで、偏った、例えば「普通の授業がいい」に回答が偏ったりとか、意図しない、こちらが求めている結果が素直に出てこない可能性が高いかなと思ひますので、ちょっと削除の方向で考えたいと思ひしております。

こういった形でいろいろ修正とか削除とかをしてまとめていった結果、1問残ったので、私としては、事前というか、経年での比較ができる問題を一つぐらい入れておいたほうがいいかなと思ひまして、鈴木委員から出ていた意見の「スクリーンタイムの利用のルールを決め

	<p>ていますか」というような設問を1個入れるのはどうかという御提案が、最終的に今日の資料4という形でまとめさせていただいているものになります。</p> <p>ざっと流しで今日残っている質問についてだけ御説明させていただいた形になるんですけども、皆さんのほうから、今ので分かりづらかった、ここはどういう意図で消してしまったのかとかありましたら、先に御意見というか、質問をいただければと思うんですが、いかがでしょうか。</p> <p>一旦、委員長にお返しします。</p> <p>説明、ありがとうございます。それぞれの設問、以前お示しした33問について、非常に委員の皆様が細かく文言あるいはその意図などを検討していただいて、御意見をたくさん頂戴しました。それを、今、事務局からお話がありましたように整理して今日お示ししたのが、資料4の25問ということですね。</p> <p>まず、一つ一つについて検討していく時間はとてもありませんので、新たな資料4の中で前段の部分ですね。先ほど事務局からお話があった中で、少し検討していったほうが良いという項目は幾つかあったんですけども、まず、こちらから何番という前に、ちょっとこのところが気になるとか、もう少しこれは説明を聞きたいといった設問があれば、資料4に付した番号でも結構ですし、事前の33問の中でも結構ですので、幾つかあれば、まずそこをお示しただけですでしょうか。いかがでしょうか。</p> <p>では、八木委員、お願いいたします。</p>
八木委員	<p>質問です。すみません、勉強不足でちょっと申し訳ないんですが、「スクリーンタイム」という言葉は小学生にも浸透しているワードなんでしょうか。</p>
浅野委員長	<p>何とも言えないですね。一つ、本校でもそれについて子どもたちに聞いたことはないですから、もしかしたら分かっていないかもしれないですね。金井委員、中学生はどうですか。</p>
金井副委員長	<p>中学生も多分分からないと思います。</p>
浅野委員長	<p>分からない。そうなると、分からない言葉は定義が必要になってきますので、資料4の17問目に「スクリーンタイム(スマホ・ネット・ゲームなどを見る時間)」とありますが、むしろそちらを前面に出しましょうか。それで「(スクリーンタイム)」とか、つまり括弧を逆にし</p>

八木委員 浅野委員長	<p>てしまうというのはいかがでしょうか。八木委員、いかがですか。</p> <p>そうですね。説明が先のほうがいいですね。</p> <p>では、今の御意見をいただきまして、新たな設問 17 番ですけれども、「スマホ・ネット・ゲームなどを見る時間（スクリーンタイム）は、変わりましたか」という言い方にしましょうか。ありがとうございます。</p> <p>そのほか、まず全般を通して、いかがでしょうか。黒須さん、どうぞ。</p>
黒須委員	<p>すみません。私の出した意見のほうで訂正です。29の設問の下に「体調を改善しようとして心がけていることはありますか」という質問の下に選択肢1と書いているんですけども、そこを「紫外線」と書いてしまったんですけども、「太陽光」という形に訂正していただいて、選択肢2のところ、何か余分な「年前は」とか書いてしまったので、それも消していただけたらと思います。</p> <p>ここで私が言いたかったことは、バイオレットライト、太陽光を2時間ぐらい浴びると視力回復につながるということで、台湾とかはそういうことを授業に取り入れている、体育の授業を外でやるということもしていることとか、あとブルーライトには体を目覚めさせてしまう働きがあるので、その使い方、浴び過ぎないこととか、寝る前に浴びないこととか、そういう警告とか、体調管理のために必要ですよみたいなことを後でまとめのところに入れられるような、そういう設問にしたらどうかなと思っています。</p> <p>それからあと、全体として、GIGAスクール構想のことなんです。</p>
浅野委員長	<p>ちょっと待ってください。今一つ一つやっていきますので、ちょっと今その設問29についての回答案というところでお答えさせていただきますが、よろしいでしょうか。</p>
八木委員 浅野委員長 前田児童青少年係長	<p>はい。</p> <p>では、事務局からお願いします。</p> <p>事務局です。ただいま、黒須委員のほうで事前に御意見を、事前設問だと29番、本日だと21番の問題、「スマホやネットを使うことで、体調の変化を感じますか」というところについて、事前にいただいた意見の中から、ちょっと誤字がありましたので修正をとということでした。</p>

<p>八木委員 前田児童青少年係長</p>	<p>関連で入れたい質問として、回答1、選択肢1は「紫外線」ではなく「太陽光」、選択肢2は「年前は」を消して、「画面を見ないようにしている」、選択肢3は「身体を動かしている」、選択肢4は「特にしていない」ということで追加をしたい。その意図としては、スマホとかを使ったことで目が疲れたことをどのように改善するものを取り入れているかということを確認したいということでもよろしかったですか。</p> <p>はい。</p> <p>ありがとうございます。まず、この29の設問につきまして、最初に提示させていただいたのが、金井委員とかの御意見にもあったように、スクリーンタイムが増えることで体調が悪くなることが前提の回答、選択肢でございました。こちらについても、スクリーンタイムが影響するというか、それだけが原因で体調が悪くなると科学的に説明できるようなものではないと反省いたしまして、現時点での問1については、「体調の変化」として、「よくなった」、「変わらない」、「少し悪くなった」、「悪くなった」の自覚症状としての部分を聞く内容に変更させていただいております。なので、前の設問であれば確かに「悪くなったことに対して何か改善していますか」が追加でいいかと思ったんですけども、ちょっとここの追加としては現時点ではなじまなくなってしまうのかなというのが現状です。</p> <p>それと、先ほど御説明させていただいたとおり、例えばブルーライトについても、ブルーライト自体が眠りを妨げるとか、そういったことは、確かにテレビとかでもしているんですけども、どの程度の影響が例えば小学生とか成長期にはあって、大人とは違うのかとか、そういったところを専門的に御助言というか、この提言とか分析をしていく中で御発言いただけるような委員がちょっとこの青少年問題協議会の中には委員構成としておりませんで、確認していただくのは構わないんですけども、だからこれをやったほうが良いというような内容での青少年問題協議会としての提言というのは難しいので、この設問は、仮に黒須委員のおっしゃるような内容で「どういった改善をしていますか」という形で確認を取ったとしても、それを家庭の皆さんへの啓発として使っていくというのは少し難しいのかなというのが、事務局としての感想になります。</p> <p>おっしゃっていることは確かに、「太陽光を浴びたほうがいいよ」と</p>
---------------------------	---

	<p>か、常識の範囲というか、皆さんが「確かにそれはいいことだよね」というのは共通の認識ではあるものだと思うんですけども、それを正式なものとして附属機関が出していくものに出していくということになると、ちょっと今の委員構成からは難しいのかなと思っております。</p>
浅野委員長	<p>取り急ぎ、黒須委員の設問の部分の回答をさせていただきました。ありがとうございます。今の御説明を受けて、黒須委員、いかがですか。</p>
黒須委員	<p>分かりましたが、ただ、視力低下というのは、すごく子どもたちにこれからどンドンどンドンそういう視力が悪くなって下がっていくという子が増えていくと思うので、何かまともなところでも警告的なことが伝えられたらいいかなと思います。</p>
浅野委員長	<p>ありがとうございます。では、そちらは念頭に置いて、また進めてまいりたいと考えております。</p>
黒須委員	<p>それでは次に、G I G Aスクール構想についてという御質問、御意見が先ほどありましたけれども、そちらをお願いできますでしょうか。</p>
浅野委員長	<p>引き続き、黒須でいいですか。</p>
黒須委員	<p>はい。</p>
浅野委員長	<p>すみません。G I G Aスクール構想というのは、タブレットが自由に使えるということが目的ではなくて、考える子どもを育てることが一番の目的だと思うんです。今まで板書をノートに書いたりとか、そのことに時間をたくさん費やしてきたのを、そうではなくて、そういうことはもうなるべく短くして、その先にいろいろなことを考える力を養っていくというのがG I G Aスクール構想だと思うので、そういうことをアンケートを通しながらちょっと考えてみたりとか、何かそういう目的でこれが始まっているんだという、私にとっては今の学校の目標というのは、考える子どもを育てるみたいなのが、いつも毎年、毎年、学校の目標になっていると思うんですけども、それを授業の中で実際に子どもたちがやっていく、経験していくという、それは本当に教育界にとって画期的なことだと思うので、そういうことを子どもたちも親も認識していくというか、そういうアンケートにつなげられたらいいかなと思っています。</p>
浅野委員長	<p>御意見をありがとうございます。おっしゃることは非常によく分かるんですけども、このアンケート自体がコロナ禍とICT化という</p>

ことで、要するにコロナ禍においてICT化していくことがどのような影響を及ぼすか、またそれを子どもたちはどう感じているかというところになっていきますので、GIGAスクール構想自体について問うものではないというところはまず御理解いただきたいですね。

なおかつ、GIGAスクール構想は国が進めているものですが、各行政においては、推進しているのはあくまでも教育委員会です。教育委員会からそれが学校に下りてきて、学校でも、本校ももちろんそうですが、授業でも今当たり前のように活用するようになっているんですけども、そのありようについて問うのが今回のアンケートではありませんし、主体ももちろん教育委員会ではなくて児童青少年課ですから、そこはちょっと御認識いただいて、今おっしゃったようなことであれば、それはまた別の機会、教育委員会からの啓発であったり、質問であったりとといったところに反映させていくことがよろしいのではないかと考えますけれども、いかがでしょうか。

事務局から補足をさせていただきます。

皆様、歴史も習っていらっしゃるんで、分かっているらっしゃると思うんですが、日本が第二次世界大戦とか戦争をしたときに、富国強兵の名の下、教育が戦争の道具に使われてきたという歴史がありました。その関係で、教育には、行政というか、政治の力を入れていかない、政治は不介入にしようというような先人たちの反省が現在の日本に生かされているという形になりまして、ちょっと学校教育の部分に入っていく内容について、行政の附属機関のほうからあれやこれやと言うのはちょっと立場的には違うのかなというのが、事務局としての率直な感想になります。

GIGAスクール構想自体、コロナがあろうがなかろうが、国は進めるつもりで、小金井市も進めるつもりでやってきたものです。今回はコロナ禍を外せないだろうというところで、皆さんの御意見が前回統一されておりますので、コロナ禍に限った中というか、コロナでの変化があった部分という形で、どういった戸惑いであったりとか、逆に順応して、今のほうが便利と感じているのかとか、そういったものの一つとして、ICTというか、タブレットを使った、GIGAスクールとも関連している、学校でも画面を見ながら、教科書ではなく授業をするよとか、そういった使い方の部分であったり、そういったところで設問を作ってきたのがこの今回御提示している内容になるとい

前田児童青少年係長

<p>浅野委員長 黒須委員 浅野委員長</p>	<p>うことを御理解いただければなと思います。以上です。</p> <p>説明、回答としては以上なんです、黒須委員、いかがでしょうか。分かりました。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、それ以外のところで何かほかの方からも、今ここでというようなことがございましたら。八木委員、お願いいたします。</p>
<p>八木委員</p>	<p>今のにもちょっと関連するかと思うんですけども、前回もちょっと皆さんに御意見を伺ったんですが、このアンケートの一番上に総括として、「あなたは何をどう考えますか」というテーマみたいなものが来るときに、「コロナ禍で」というキーワードは外せない。それがどうい影響を子どもたちや御家庭に与えているかを考えようということなので、今のようなG I G Aスクールとか、そういうのはまた別ではないかというようにお話だと思っています。</p> <p>それを受けて、タブレット入力、キーボードがたたけるかどうかという設問に関しても、これがコロナでキーボードに特化してしまうと、後藤委員がおっしゃっていたみたいに、たたける子たちがいなくなったよというのは、またコロナという影響下ではなくて、I C Tの全然違う環境下でどうかという話になってくると思うので、コロナ禍で先ほど言っていたスクリーンタイムが増えた結果、いい面としてこういうこともあるかなということが考えられるのかなという設問として使うとすれば、キーボードに特化するべきではないのではないかなと感じます。以上です。</p>
<p>浅野委員長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、今、具体的にキーボードのことは、事前の質問ですと31番ですね。それで、資料4ですと22問目に入っておりますので、その辺り、ちょっと具体的に検討すべきところに行きたいと思うんですが、まず今おっしゃっていただいた新たな設問22ですね。これは別にコロナ禍であろうとなかろうと、関係してくるところで、ここであえて問う必要はないのではないかといった御趣旨でよろしいですか。</p>
<p>八木委員</p>	<p>キーボードに関しては問う必要はないとは思いますが、結局I C T関係の機器を使うことによってコロナ禍においてそれが個人的にはこうやってZ o o mとか、そのようなものが大人の社会ではどんどん普及していているのと同じように、子どもたちの中ではどうなのかなということを知りたいとは思っています。以上です。</p>

浅野委員長	<p>分かりました。そうしたら、ちょっとそれはまた持ち帰って、そういった設問に変えていく検討するという事でよろしいでしょうかね。</p> <p>貴重な御意見をありがとうございました。</p> <p>そのほか、先ほど事務局から説明があった中で、これは皆さんにお聞きしたいという項目が幾つかありましたので、ちょっとそちらに移っていきたいんですが、今もおっしゃっていただいた旧というか以前のものの31番が今の22番、それが、今八木委員がおっしゃっていただいたものですが、そのほか、事前の設問の22番ですね。これが現在は14番になっていますけれども、そこを事務局の中では、選択肢の中で4つ選び切れない、何か御意見があればといったところでしたが、これについてはいかがでしょうか。「コロナになって、よかったと思ったことはありますか」という問いですね。資料4では14番になります。その選択肢1として「おうち時間が増えた」、選択肢3に「行事がなくなったこと」、選択肢4、「その他・特にない」とありますが、もう一つ何か入れられるようなものがあれば、御意見をいただきたいんですが、いかがでしょうか。鈴木委員、お願いいたします。</p>
鈴木委員	<p>ちょっと考えたほうがいいのかと思ったのが、「健康のことを考えるようになった」というのはどうでしょうか。</p>
浅野委員長	<p>「健康のことを考えるようになった」。なるほど。ありがとうございます。</p> <p>そのほかの方、いかがでしょうか。</p> <p>では、今、「健康のことを考えるようになった」という御意見をいただきましたが、それに対しては、賛成、これはいいなと思う方はちょっと挙手していただけますか。</p> <p>ありがとうございます。金井委員、ちょっと首をかしげていらっしゃるんですが、何か御意見があればお願いいたします。</p>
金井副委員長	<p>いや、確かに「健康について考えることが増えた」というのは、悪いというわけではないんですが。</p>
浅野委員長	<p>何かほかに代案等がありますか。</p>
金井副委員長	<p>すみません。今のところは、ほかはないです。</p>
浅野委員長	<p>分かりました。では、これは選択肢の一つとして、これも持ち帰りますけれども、それ以外にもし御意見があれば。八木委員、どうぞ。</p>

八木委員	<p>I C T機器を使う制限が随分緩和されて、おうちでも使える時間が増えたというようなことを一つどこかに入れたいかなと思うのと、「行事がなくなったこと」はいいことなんですかね。ちょっと何か微妙というところがありますね。以上です。</p>
浅野委員長	<p>ありがとうございます。私も、事前の意見は出しませんでしたけれども、この「コロナになって、よかった」という設問自体が、ちょっと誤解を招く危険はあるなというのには実は感じています。これは、コロナになってしまった人は、今少なからず、我が国だけではなくて世界中にいますので、なってしまった人がよかったと思っているはずはないですから、ちょっとこれは聞き方自体も慎重にすべき設問ではないかと思えますので、併せて、ちょっとこれは持ち帰りをさせていただきたいと思えます。よろしいでしょうか。</p>
前田児童青少年係長	<p>事務局です。すみません。今の設問について、やはりネガティブなことが増えてしまうんですね、コロナのことを聞いていくと。どこかにポジティブな設問を入れたいなとは思いますが、その入れ方が分からず、「よかったこと」ということにちょっとなってしまうんですが、その辺り、設問自体を変えることも含めて、ポジティブな気持ちになれるような設問とはどんなものが考えられるか、参考までに御意見をいただくと大変助かるんですが。</p>
浅野委員長	<p>私も、事務局からの説明を受けて、趣旨はよく分かります。ただ、言葉にするのがやはり難しいなど。特に、これは紙媒体なり I C T媒体で世に出ますから、説明する機会というのはなかなか難しい。そのときに、その言葉が独り歩きしてしまうのは怖いなというところはあるんですが、今の意図を酌んで、何かポジティブなことを聞けるような設問の文言がもし浮かぶようでしたら、もちろん今でなくて後ほどでもいいですが、もし今そういったことが浮かぶような方がいらっしゃれば御意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>ちょっと難しいですね。私も代案は浮かびません。ですので、これもちょっと持ち帰りをさせていただきたいと思えます。また何かいいアイデア等が浮かんだ方がいらっしゃれば、事務局のほうに御連絡いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、時間も限られていますので、次に進めてまいります。続いて、事前のアンケートでは32番、資料4の中では23番、「タブレットを</p>

	<p>使った授業を受けてどう思いますか」といったところですが、これはより適切な設問がないかといった提案だったのですけれども、これについてはどうでしょうか。これは確かに、タブレットを使った授業を受けているというのは、もちろんコロナ禍だからこそではなくて、先ほども説明がありましたGIGAスクール構想を進めていく上ではもう必須でありますし、実際、他校もそうでしょうけれども、本校でも今1年生から、自分でパスワードを入れて、入力して、どんどん使いこなしていっているところ、大人よりも相当使える子どもたちもいますので、コロナ禍だからというところとはちょっと難しいなという面もあるんですが、この設問についてはいかがでしょうか。</p>
<p>前田児童青少年係長</p>	<p>先ほど八木委員のほうからもおっしゃっていたICT、コロナでのICTで触れる機会が増えたことでという御意見からちょっと発想を今思いついたところとしては、一つは、技術的に使うのが速くなったとかというのを一つ残したいな。プラス、心情として、それを肯定的に受け入れているのか、仕方なく使っているのか、そういった心理的なところの障壁について、金井委員からも事前で、これはタブレットの授業が好きか嫌いとかでいいんじゃないかという御意見もありましたけれども、この辺りの本当に簡単な、単純な選択肢に変えさせていただいて、現状、急速に変わった事実に対して、今使っている子どもたちは、楽しい、好きと思って使っているのか、嫌いと思いながら使っているのかを確認する設問にするのはどうかなと思ったんですけれども、いかがでしょうか。</p>
<p>浅野委員長</p>	<p>いかがでしょうか。これも同様に、難しい設問あるいは考え方になってくるんですけれども、何かここで御意見があれば頂戴して、またそれを持ち帰って検討したいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。八木委員、お願いいたします。</p>
<p>八木委員</p>	<p>今日は参加者が少ないので、参考意見という形で十分だと思うんですけれども、大人の社会でも、急速にZoom会議とかリモートとか、そのようなこと、いいところも随分出てきたかなというのは実感はしているんです。なので、子どもたちにとっても、タブレットを使った授業は着実に増えていきますけれども、ここで急速に増えたことで、よかったと思う子どもたちもいるかなというのは感じています。</p> <p>先ほどありましたポジティブなほうのそういう質問の意図からいっても、これは必要かなと思っているんですけれども、「楽しいから好</p>

浅野委員長	<p>き」、「覚えやすいから好き」、でも「急に増えて戸惑っている」みたいなちょっとネガティブな選択肢も一つは入れないと駄目かなとは思っています。以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p>
黒須委員	<p>そのほか、いかがでしょうか。黒須委員、お願いいたします。</p> <p>私は、金井先生がおっしゃっている意見のように、単純に「好き」、「やや好き」、「やや嫌い」、「嫌い」という選択肢でいいかなと思います。</p>
浅野委員長	<p>ありがとうございます。要はその「好き」の中身を問うものではなくて、単純に「好き」、「嫌い」で聞いていくといったことですね。分かりました。では、そちらもまた検討いたします。</p> <p>ほかの御意見はいかがでしょうか。</p> <p>では、またこちらも検討案件にいたしますので、また御意見等あればお寄せください。</p> <p>もう一つ、事前の設問で33番ですね。資料4では24番になっていますが、「あなたは、休校になった場合に、オンラインで授業を受けることができそうですか(タブレットは持ち帰りの場合)」という設問なんですけど、これについては、金井委員から御意見をいただいております。「家庭のネット環境を子どもに問うことに違和感があります」といったところなんですけれども、金井委員は今日参加してくださっていますので、ここを少し説明していただけますか。</p>
金井副委員長	<p>家庭のネット環境というのは、結局はそれを設定するのは親というか、保護者とか大人ですから、それを子どもに聞くことによってどういう意味があるのかなという単純なことです。</p>
浅野委員長	<p>分かりました。</p>
前田児童青少年係長	<p>事務局です。今の設問に関連して、もし家庭内での環境格差というものはどうしても取りたいということであれば、子どものほうには入れず、大人のほうだけこれを追加する。子どもは24問、大人は25問という形での聞き取りも一応は可能です。あまり変更してしまうと、大人に取ったものと子どもに取ったものの比較ができなくなるので、少ないほうがいいんですが、金井委員の意見のように、これを子どもに聴く意味がないというものに関しては、子ども側から削除、逆に大人側から削除でも構いませんが、そういったことは可能かなと考えております。</p>

浅野委員長 八木委員	<p>ネット環境の格差については、皆さんの関心が高い項目になりますか。それとも、削除してしまっても構わないレベル感になりますでしょうか。</p> <p>いかがでしょうか。八木委員、お願いします。</p> <p>私は個人的に、ネット環境に関しては興味深いです。これだけネットの状況が普及しているにもかかわらず、ネット上でこういうアンケートを取ったりすると、小金井市の場合は3割しか返ってこないとかという想定ですよね。なので、環境は整っているけれども使わないのはなぜかなといったら、それは金井先生がおっしゃるように御家庭の問題だとは思いますが、子どもたちは大きくなっていく中で、その環境をどう感じているのかというのはちょっと問うてみたいなどは思っています。要するに、金井先生がおっしゃっていたような選択肢にするべきかなと。持って帰れる環境でも、御家庭での関心度がどれぐらい高いか低いかによって環境というのに関係してくるのかなという気はしています。以上です。</p>
前田児童青少年係長	<p>ありがとうございます。今の御意見にも関連していますので、後でちょっと確認はさせていただこうと思ったんですけども、アンケートの調査方法について、インターネットを使うのはどうかという御意見を前回いただいていたかと思えます。この設問を作るに当たっても、その格差を確認したいのであれば、持っていない、使えない家庭にも回答してもらわないと、正確なところが出てこないんです。なので、そうすると、保護者にはもう紙で配るしかないという形になってくるんです。その環境はもうあるのだけれども、自分たちの意思によって使わないとか、使わせていないとかというところの確認であれば、インターネット上でのアンケートも可能かなと思って、どのレベルでの資料、調査結果を分析してみたいのかというのが、ちょっと意図が分かりませんで、これを1問にまとめるといっても相当難しいことなんです。</p> <p>実際はこれは5問ぐらいかけて、「家にありますか」、「ある」、「ない」、その後、「それは自由に使えますか」、「はい」、「いいえ」、だけれども、「使わないのには何か理由がありますか」、これこれ、こういう理由ですというような幾つかの選択肢をもって確認していくような大きな問題というか、テーマではあるだろうなどは思っています。そうすると、ちょっとこのICT化というところの今回やりたいコロナ禍と</p>

浅野委員長	<p>は離れていってしまうので、あえて1問だけ残して、皆様に御意見をいただきたいなと思ったところなのですが、1問ではその実態全てについて出てくるものではないので、それであればいっそやめてもいいのかなというのが事務局の意見になります。以上です。</p> <p>皆さん、いかがでしょうか。今の説明を受けて、いかがでしょうか。それでしたら、これについても、今事務局から説明があって、私も聞いていて、なかなか難しいなど。本当に一つに絞れるのかな、あるいは増やしていったほうがいいのかとか、あるいは金井委員から出していただいたような書きぶりにすればいいのかといったところも含めて検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>以上、特にこの設問についてお聞きしたいといったところは大体以上なのですが、それ以外のところで、この設問に対して、こうしたほうがいいのか、あるいはこれはどうなんだというような御質問なり御意見なりがあればここで出していただきたいんですけども、いかがでしょうか。</p> <p>黒須委員、お願いします。</p>
黒須委員	<p>ちょっと今、学校の現状を聞きたいんですけども、家でネットが使えない人が三小の場合5%ぐらいいると聞いたような気がするんですけども、学校側としては、そういう子のために教室を開放するとか、何かそういうことは今の現状では考えていないのでしょうか。</p>
前田児童青少年係長	<p>すみません。今、黒須委員がおっしゃっていたのは、自宅にネット環境がなくて、自宅に持ち帰れない子のために、そういう子が5%ぐらいいることに対して、学校、教育委員会として何か取組を行っているかという質問でよかったですか。</p>
黒須委員	<p>はい。今後そういうことを考えているとか、何かそういう現状をちょっと教えていただけたらと思います。</p>
浅野委員長	<p>まず、昨年度、休校期間が長かった時期に、当然、学校と家庭とのやり取りはオンラインを使ってやったり、あるいは教材等を配信したりといったことをやっていたので、当然本校もそうですが、他校も、まずはそのネット環境が整備されているかどうかというところは、各家庭はどうかという状況は調査いたしました。5%と今おっしゃいましたけれども、本校でも、2桁には行かなかったんですけども、数件は整っていないというところがありました。</p> <p>昨年度については、教育委員会の学務課から、モバイルルーターを</p>

	<p>各家庭に貸出しをして、それを使ってやるといったことができました。学校にもそのクロームブックはありますので、それと併せて使うということではできたんですけども、そのモバイルルーターは契約期間があつて、もう要するに引き揚げられてしまったんです。ですから、今は教育委員会から何か貸出しということはしていないんですけども、学校によっては、本校もそうですが、クロームブックを今使っていますが、それを持ち帰って家でやりたいという場合には、いわゆる借用書のような書類を書いて、それを保護者が提出した場合には、持ち帰って家でやるということはやっています。特に今、本人もそうですけれども、濃厚接触者になって学校へ来られないという子どもも増えていますから、そういった場合の学習の保障というところで、貸出しということは以前よりも行うようにはしています。</p>
金井副委員長	<p>中学校ではどうでしょうかね。金井委員、いかがですか。</p> <p>持ち帰りに関しては、その都度というのも変ですけども、必要に応じて持ち帰らせています。でも、借用書的なものまでは本校では取ってはいないで持ち帰らせていますし、ネット環境がない家庭についても、本校も一つの学年でそれを調査してみたんですけども、大体同じぐらいの割合でネット環境がないという御家庭がありました。もし学年閉鎖・学校閉鎖等が行われる際には、実際にはオンライン授業をやらざるを得ないかと思うんですけども、そういった状況下でも環境がない子に関しては、学校に来させて、そこで授業を受けさせるという形を取らなければならないなど今考えています。</p>
浅野委員長	<p>ありがとうございます。それは本校も同様でして、昨年度休校期間中も、できない、要するにネットでつなげられない場合には、学校へ来て、そうすると教室の中に一人、二人という非常に少ない状況になりますから、そこでやっているという対応をしたことは確かにありましたね。それはこれからも考えられることだと思います。</p>
黒須委員	<p>黒須委員、いかがでしょうか。</p>
浅野委員長	<p>ありがとうございました。安心しました。</p> <p>それでは、そのほかの設問について、何か今御質問なり御意見なりはございますか。</p>
前田児童青少年係長	<p>事務局からなんですけれども、先ほど資料の説明のときにもお伝えした、現在の番号で10から13について、取れたら取れたで参考になる意見かなとは思いますが、なくても、ほかの項目でも聞</p>

浅野委員長	<p>けている内容であったりとか、「コロナによって」という表現を統一していたほうが、何と比べているのかが分からないという御意見があったので、ここを削除して、事前にいただいたものも含めて、ほかの新しい設問を入れるのかというところについて、ちょっと御意見をいただければなと思うんですけども、お願いできますでしょうか。</p>
浅野委員長	<p>今のことについては、何か御意見等あれば、いかがでしょうか。</p> <p>先ほどの事務局説明の中で、「コロナによって」という言葉がいいのか、事前の委員の御意見の中で、「コロナが原因で」なのか、「コロナ前と比べて」なのかといったところも出てきましたけれども、統一するとしたら統一したほうがいいんでしょうけれども、その文言の使い方も含めて、あるいはこの設問の必要性も今説明がありましたけれども、併せて何か御意見等あればお願いしたいんですけども。</p>
前田児童青少年係長	<p>一応これを残すという形になると、新規の設問はちょっと入れづらい、設問数的にちょっと難しいというところになりますので、そこを理解した上で御意見をいただければなと思います。</p>
浅野委員長 八木委員	<p>八木委員、どうぞ。</p> <p>ちょっと聞き逃してしまったかもしれないんですけども、この「コロナによって」の質問は、保護者宛てのときには、これは「あなたのお子さんは」になるんですかね。どういう形になりますかね。</p>
前田児童青少年係長	<p>あくまで子どもの実態について、青少年の問題について、調整というか、建議するのが青少年問題協議会の役割ですので、ここの設問は、例えば設問10であれば、「あなたのお子さんは、コロナによって、「勉強の大変さ」はどう変わりましたか」、「変わったと思いますか」ですかね。「増えたと思う」、「減ったと思う」、「変わらないと思う」、それは子どもを見て、保護者の目線としてはどう思っているのかというような形になります。</p>
浅野委員長 八木委員	<p>八木委員、どうぞ。</p> <p>では、今の説明を受けて、この設問で「コロナ禍」というキーワードは外せないということは、保護者にとって、コロナのこの状況が長く続いているけれども、漠然とした不安とか心配事とか、そういうものを抱えているだろうなというようなところは予想できるので、「コロナ」というキーワードとともに、この漠然とした不安ということで、この4問を入れるということで、もう一回改めて、どうなんだろう、どこが心配なんだろうということを深く保護者が考えたり、また子ども</p>

浅野委員長	もたちも振り返って考えてくれるというところでは、この設問は、私は外さないほうがいいかなと思います。以上です。
	ありがとうございます。
鈴木委員	そのほかの方、いかがですか。鈴木委員、どうぞ。
浅野委員長	私もそう思います。残したほうがいいと思います。
前田児童青少年係長	ありがとうございます。そのほかの方、いかがでしょうか。
	事務局です。ありがとうございます。こういった設問は考えさせるということで、残した方向がいいのかなと思ったんですが、この聞くもの、今は「勉強の大変さ」、「学校に行きたいという気持ち」、「楽しいという気持ち」、「不安・心配」という気持ちの4つになっているんですけども、4問ぐらいしか置けないんですが、これを例えば「いらいら」だったりとか、国立成育医療センターが行っている「コロナ×こどもアンケート」というウェブで取っているアンケートの結果が出ているんですけども、そういったところでは、例えば友達と話す時間が「増えた」、「減った」だったりとか、家族とのトラブルが「増えた」、「減った」だったりとか、「楽しいと思うこと」は入れたな。そういった別のものも「増えた」、「減った」でアンケートを取っていたりということがあったんです。最初の3、事前の設問のところでは、人間関係のほうで「増えた」、「減った」みたいなことを書いていたかなと思うんですけども、ここに入れるそのキーワードについても、この4つで構わないか、その辺り、ちょっと御意見をいただければかなと思います。今、御意見のほうでは、「コロナの前と比べて」というよりは「コロナが原因で」の意図での使い方かなということで整理させていただきたいなと思っております。以上です。
浅野委員長	では、今、事務局からの問いかけに対して、何か御意見等あればお願いいたします。 そうしますと、ここにある4つを生かすといった方向でよろしいですかね。もしまたこの後お考えが浮かぶようなことがあれば、併せて御意見をお寄せいただければと思います。ありがとうございます。 それでは、おおよそこの設問については御意見等をいただきましたので、併せて今後また検討してまいりたいと考えます。 この後、事務局から、調査方法であったり、前回いただいた報告会等についての検討事項がまだありますので、それについての整理をしていきたいと考えます。

前田児童青少年係長	<p>では、事務局からお願いいたします。</p> <p>事務局です。アンケート案について御意見をありがとうございました。</p> <p>この後は、本体会議のほうに、まずは専門委員会としてはこういうアンケート内容でやっていきたいよということを3月末に報告し、これでゴーなのか、御意見をいただいてまた修正するのかというのが一回挟まりますが、来年度の6月、7月ぐらいに調査を実際にかけていきたいというスケジュール感で考えております。</p> <p>その際の調査方法、先ほどもちょっとお話をさせていただいたんですが、紙で考えていますといったときに、ウェブ、ネットでできないのかという御意見をいただいて、私のほうでも検討しました。ただ、ちょっとまだどの学校に頼むのかとか、そういった詳細の詰めまでができていないので、確実にできるという形にはならないんですけども、子どもについては、インターネット上での回答、ポチポチしてもらおうというような形で、一定の調整はしていきたいなと思っております。調整が難航した場合は、申し訳ありませんが、紙になるかもしれませんが。そこについては最終的には、ちょっと皆さんにお諮りしている時間がなかったりするかもしれないので、専門委員長・副委員長のほうに御報告させていただいて、そこで決定させていただきたいと思っております。そこは1点、御了承ください。</p> <p>大人について、先ほども御説明したように、悩ましい問題がございます。今の設問ですと24番をどういった形で使うのかをちょっと整理させていただいて、もしそのネット環境の有無のほうに主軸を置くということであれば、ちょっと今回、大人については、やはり紙ベースでのアンケートのほうが正確な結果が出てくるかなと思いますので、紙ベースで行っていきたいなというのが現時点での事務局の考え方になります。</p> <p>事前質問の事前の御意見でもいただいていた御意見がございますので、そういったものを踏まえながら、この方法についても最終的には専門委員長・副委員長と御相談させていただきながら決めさせていただければなと思っております。</p> <p>ちょっとアンケート方法を変更した結果、どのぐらいの回答数が変わってくるのかというのが、正直一回もやっていないので読めない部分はございます。ただ、ネットアンケートのいいところというのは、</p>
-----------	--

不特定多数の人に向けてやるときに広く拡散できるというか、広報できたりというところで、調査対象を増やすためにも有効かなと思っていますが、今こちらの青少年問題協議会のほうで取ろうとしているアンケートはあくまで、例えば1年生の子どもと1年生の保護者に対して、ここがペアで、何を考えているのかを保護者は俯瞰してどう見ているのかというのを比較したいというところなので、こっちは1年生だけれども、こっちは1年生から6年生までの保護者に取りたいというようなイメージではないんです。なので、それであれば、子どもに持ち帰ってもらって保護者に書いてもらったものを学校にお願いして学校で回収してもらおうほうが、回収率としては高くなりますし、比較できる回答数が増えますので、私としては、紙のほうが保護者アンケートでは適切ではないかなと現時点では考えているところです。

今後、お伝えできるタイミングであれば、もちろん皆様に御説明させていただきながら決定していきたいなと思うんですが、ちょっとコロナ禍ということもありますし、どのタイミングで決定できるのかというのがちょっと読めませんので、最終的には専門委員長・副委員長に一任ということで今日は御理解いただければと思うんですが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

前田児童青少年係長

ありがとうございます。

それと、質問する年代については、ちょっとこっちだけで決めるというものでもないのですが、皆さんと決めていきたいな、今日決めたいなと思っています。

前のときに御意見をいただいた中で多かったのは、中学校と小学校を取るのだったら、中3と小3が一番影響が大きいだろうということ、そこがよかろうではないかというところまで意見が出て、一回事務局持ち帰りをさせていただいたところです。ちょっとこの辺り、今御説明したように、今年の6月、7月ぐらいに、対象としてアンケートを実施するんですけども、学校現場で、例えばその時期はもう受験に入り始めるから中3は難しいとか、何かあるようであればちょっとお伺いしながら、年代については今日決定していきたいなと思っています。

一旦お返しいたします。

浅野委員長

それでは、その学校現場というお話もありましたので、まず中学校、

金井副委員長	<p>金井委員、実際に今年の6月から7月、令和4年度になってすぐのところですがけれども、中学校では何年生対象がよろしいとお考えでしょうか。</p> <p>今3年生というのが出ていましたので、3年生でも特に問題はないと思います。さすがに夏休み期間中に入ってしまったらあれですがけれども、1時間も2時間もかかるアンケートとは思えませんので、それでしたら特に問題はないと思います。</p>
浅野委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、小学校は、本校の実態も鑑みてお話をさせていただきますと、3年生という御意見を前回いただいたんですが、3年生になってまだ1か月、2か月の子どもたちというのは、はっきり言いまして2年生の延長なんですね。本校の3年生も、この1年間の様子を見ていて、先週も3年生は研究授業をやったんですけれども、1年たつ頃になって成長したなというのが分かるというのが実態です。</p> <p>小学校ではよく、いいも悪いも「10歳の壁」などという言い方をするんですけれども、10歳というのは要するに4年生ですね。4年生になってくるといろいろ難しくなってきた、そこからはもう高学年に向かって気持ちも変わっていくというような捉えをしています。ですから、こういったアンケートを取るのであれば、私個人の考えでは、小学校4年生以上がいいのではないかと思いますね。4年生以上であれば、4年生でも5年生でも6年生でも、この時期はどの学年でも取れるのではないかと思います。</p>
前田児童青少年係長	<p>ありがとうございます。そうしましたら、中学生のほうについては、皆さんの委員からの希望というか意見が多かった中学3年生にちょっとアンケートを実施する方向で調整をしたいなと思っております。ありがとうございます。</p> <p>小学生は確かに、小学校2年生が回答してくれたものと小学校6年生が回答してくれたものでは、内容を直感で答えるというのは同じなんですけれども、設問の意図がうまく伝わらなかつたりとかというのは、自分の子どもを見ているでもそうかなというのは思いますので、できれば中・高学年、4年から6年の中がいいのかなと個人的には感じました。</p> <p>ちなみに、4年から6年であれば、どの年代が一番影響を受けた年代とかというのはありますか。</p>

浅野委員長	<p>6年生になる5年生は、今年度も市内の小学校全校ですけれども、宿泊を伴う移動教室は実施ができませんでした。ただ、4年生以下であれば、特に2学期の時期、感染者が少なかった時期には、貸切バスを使ったり、あるいは電車で車両を分けて乗って、校外学習を日帰りでは行っています。ですから、4年生以下は校外学習は大体できているというところですよ。もちろん5年生も、日帰りの校外学習は本校も他校も行っていますが、宿泊行事はできなかったというところで、相当なダメージといたしますか、残念であったというところは共通のところだと考えますので、その5年生が6年生になったときに、5年生のことも振り返りつつどうだったかというのは、一番聞く対象としてはふさわしいのではないかなという気はしています。</p>
前田児童青少年係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今ちょっと先生方の学校現場からの御意見ということで事務局のほうで求めてしまったんですけれども、今の参考情報提供をいただいて、皆様の御意見をちょっとお伺いしたいんですが、いかがですか。黒須委員からいきますか。</p>
黒須委員	<p>現場の先生たちの考えで進めていただいていると思います。</p>
前田児童青少年係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>八木委員はいかがですか。</p>
八木委員	<p>私も、前回一番影響があった3年生かなと思いましたがけれども、この設問の内容から見たら、先生がおっしゃるように、4年生以上でないちょっと理解できないかなというのも考えますので、そちらのほうでお任せしたいと思います。</p>
前田児童青少年係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>鈴木委員、いかがですか。</p>
鈴木委員	<p>現場の先生にお任せします。</p>
前田児童青少年係長	<p>ありがとうございます。そうしましたら、ちょっと学校にお願いしなければいけないというところもありますので、学校の実情を踏まえまして、中学校3年生と小学校6年生で今期のアンケートのほうは実施していきたいと思っております。小学校6年生と中学校3年生に伝わる文章にこれも直していくという形で、文言の軽微な修正とかもしていきたいなと考えています。ありがとうございます。</p> <p>あと、一番最初の専門委員会の際に、これは後でもいいかな、報告会をやりたいたいなみたいな御意見を黒須委員でしたか、八木委員か</p>

八木委員	<p>らいただいていたかと思うんですけども、これをどう頑張って事務局のスケジュールを早めても、やるとしたら、活動報告書がまとまる来年の6月もしくは任期の変った7月という形になりまして、もしやる方向であれば、ちょっとそのアンケートとかも前倒しにしながら、誰が発表していくとか、どういう内容を発表していくとかも踏まえて、専門委員会の数とかを増やしたりしていく必要があるかなと思います。</p> <p>その辺は、長年このせっかくまとめたリーフレットをもう少し活用してほしいなという気持ちはありましたけれども、本会議のほうにかけていただいて、ほかの委員の方々の御意見をちょっと伺いたいなどは思います。そこでまたちょっと検討していただければありがたいと思います。</p>
前田児童青少年係長	<p>なるほど。専門委員会としてはどうしたいというのがもし出るようであれば、この時期に、3月にかけて、専門委員会の数を増やしてでもやっていく方向で考える。もし、そういったことではなく、来期とかも踏まえて、その辺りも将来的に活動報告会とかができるような形に整理できればいいよねという御意見程度であれば、今回の本体会議ではなく、来年度の本体会議、専門委員会の調査結果とかを全てまとめた段階で一度報告するのが令和5年3月なんですけれども、そのときに、今期の委員の意見としては、やはりこういう分析したもの、リーフレットを発行したものについて説明してあげたほうがいいと思いますみたいな、今後、次期の委員の皆さんとともに考えていってくださいというような意見で終わらせるという、どっちの温度感でいきたいかでちょっと報告タイミングが変わってくるんですけども、もしまとめるのであれば、来年、再来年が2回ぐらい増えるのかな。まだアンケート内容とかが全然固まっていないので、今のタイミングで、活動報告会をしたいですというのも説明しづらいなというのが個人的な意見です。</p>
浅野委員長	<p>先が見えてこないとできないというか、その見通しが持てないというのは、私も全くそのとおりでと思います。ですから、ここでやる、やらないというよりは、ある程度その形ができてきて、やる必要があるか、あるいはやったほうがいいか、そこまでのことは求めなくてよいかというところも議論できればいいんじゃないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。</p>

前田児童青少年係長

分かりました、ありがとうございます。そうしたら、ちょっと今回の本体会議ではこの活動報告会というのは出さず、来年の検討の中で専門委員会として意見をちょっとまとめていければなと思っておりません。ありがとうございます。

一応、今日ちょっと出た意見を、また持ち帰りが多くなったので、振り返りをさせてください。資料4に沿っていきたいと思います。

取り急ぎ修正した内容は、皆さん御納得いただけたのかなと思いますので、おおむねこのままでいきたいと思います。軽微なニュアンスというか、伝わり方の、子どもに伝わりやすい表現とか、大人向けを作るときに表現がちょっと変わるとか、そういったことはありますが、内容は変えないようにしていきたいなと思っております。

その中で、問14、「コロナになって、よかったと思ったことはありますか」は、やはりちょっと聞き方から考え直します。ちょっとここでポジティブなことがもしかしたら入らず、ポジティブを聞くとしたら、さっきの「ICT化になって」云々というほうと、問12で残った「楽しいという気持ち」が多くなったのか少なくなったのかというところで、ちょっとこの設問自体を削除する方向も選択肢に入れさせていただきたいと思っております。

あと、問13を残す関係で、問15とか、ちょっと類似のものがありますので、この辺りはちょっと整理をさせていただきたいと思いません。

それと、問22、ここは「キーボード」という特記ではなくて、「スマホやタブレットなどを触る時間が増えたことによって」という、技術的に上達したのか、しなかったのかという金井委員の事前意見にいただいたような内容に修正をし、これに対比するものとして、心情的な部分を問23に持ってくるような形のイメージの修正を考えております。

上でちょっと整理して、設問は空くと思うので、その中で空いたら、その「好きと思ったのはなぜですか」、「嫌いと思ったのはなぜですか」の理由の4択ぐらいを、こういう「楽しいから」とか、「覚えやすいから」なのか、ちょっと今ぱっとは思い浮かばないですけども、そういう理由を問う設問を追加事項でできればなと思います。

それと、問24については、子どもではなく、大人にのみ聞く設問として、ちょっと整理させていただければと思っております。

<p>鈴木委員 前田児童青少年係長</p>	<p>宿題で残っている感じなのはそんなところで大丈夫でしたか。鈴木委員、大丈夫でしたか。</p> <p>はい。</p> <p>ありがとうございます。取る学年については、小6と中3に学校を通してアンケートを依頼するという形で、調査方法を決定していきたいと。ちょっと調整が入りますので、この場で決定できなくて申し訳ないんですけども、決定していきたいと考えております。</p> <p>以上ですかね。ありがとうございます。</p> <p>一応、今日で今年度の専門委員会の予定回数は全部終わった形になります。ただ、今日いただいた御意見を踏まえた完成版については、まだお示しができる状況ではありませんので、ただ、次が本体会議、3月30日に青少年問題協議会の全体会を予定しているのですが、そこまでには固めなければというところで、事務局のほうで一度持ち帰って、専門委員長と副委員長とちょっと調整させていただいて、本体会議に提出するアンケート案というものを一つ最終的なものとして皆さんに一度お示ししたいと思えます。2月下旬から3月上旬ぐらいのタイミングで書面でちょっと確認をさせていただきますので、もしそこに御意見があれば事務局のほうにお寄せいただいで、最終的にその内容での変更については、ちょっともう時間もなくなってくるので、申し訳ないんですけども、専門委員長・副委員長に一任という形にさせていただきたいと思うんですが、そこは大丈夫ですか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>本体会議で報告する内容は、今年度はどうやって動きましたよ、その結果、来年度はこう動きますよという事業計画について諮るような形になります。事業計画で諮る内容としては、アンケートを実施しますよ、それを基に分析とかを重ねて、最終的に家庭に向けた啓発として何をこのように啓発したいと思っていますというようなことをまとめていきたいですというのが計画になっていくかなと思えますが、そういったものが本体会議での報告になるかなと思えます。</p> <p>本体会議報告後、本体でも意見がいただけると思えますので、それを踏まえて、来年度の1回目、5月ぐらいだと思えますけれども、まだちょっと日程は決まっていないんですが、専門委員会で調査の本決定、本体会議でも出た意見も踏まえた、最終的な子どもたちに答えてもらう案を最終決定するという形で動いていきたいと思えます。</p>
---------------------------	--

黒須委員 前田児童青少年係長	<p>ちょっとざっくり御説明してしまったので、もし聞き取りづらいところがあったら繰り返しますが、大丈夫ですか。黒須委員も大丈夫ですか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>では、次回は、今説明したとおり、本体会議が最終、集まる場という形になります3月30日水曜日の10時から、市役所第2庁舎の801会議室を今予約しているところです。感染もちょっとどうなっているか分からないんですが、原則オンライン開催という形で考えておりますので、会場にお越しいただいても構いませんし、今日のようにリモート参加、人数のばらけに協力できる方はリモートでの参加をお願いしたいと思います。</p>
浅野委員長	<p>事務局からお伝えするところは以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、この後のスケジュールは、今説明があったように進めてまいりたいと考えております。その間、先ほど2月下旬から3月上旬にかけて、書面で確認した上で、御意見等あればお寄せいただきたいということでしたので、そちらも御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>ほかに何かここで御発言等はございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、長時間にわたりまして会議に参加いただきまして、誠にありがとうございます。これをもちまして第3回の専門委員会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">— 了 —</p>